



『ヒーロー』

私の日課は近くの岸壁を散歩すること。岸壁から海をのぞき込んだら、そのまま転落してしまった。助けろーと叫んでも誰にも声が届かない。体力も限界になったとき、誰か私の手を握った。今もその手を握っている。

～解説～

あなたは、転落者が病院のベッドの上で、私の手を家族が握っている場면을想像しましたか？

この物語は、助けられた人が助けた海上保安官にひと目惚れをして、今でも手を繋ぐほど「ラブラブ」だったというお話でした。出会いは突然やってくるものかもしれません。

でも、このような出合いを職員は望んでいません。海に近づくときは、**海中転落に気を付けて**くださいね。



海の「もしも」は118番